

施設リスト

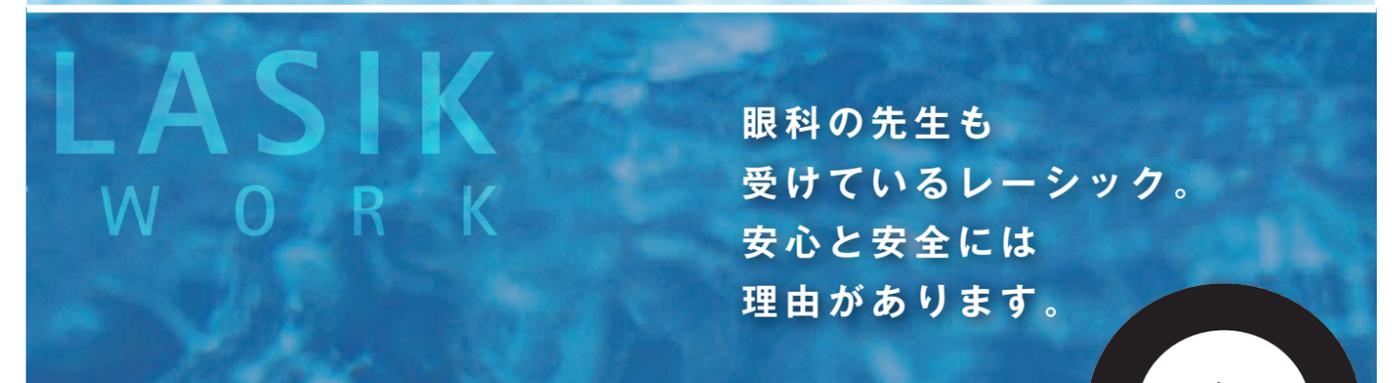


私たちは眼科専門医として、
レーシックを行う施設として、
患者様の生涯の目の健康と向き合っていくことを
責務と考えています。



安心の条件

- ① お互いが信頼し、紹介し合える医師またはクリニックである
- ② 院長および執刀医が「眼科専門医」である
- ③ 院長および執刀医が、角膜手術、眼内レンズの専門的な勉強、トレーニングをしている
- ④ 院長および執刀医が、レーシック手術だけでなく眼科診療一般の知識を持ち対応ができる（感染症などの手術における基本的な対策が当然なされている）
- ⑤ 術前検査と適応の見極め、手術に至るまでのプロセスがきちんとしている
- ⑥ 術後のフォローアップ（定期健診や合併症の治療）を何度でもきちんとして行う（患者の目の状態につき、最後まで、生涯におけるフォローを行う）
- ⑦ 原則として、厚生労働省が認可したレーザーをはじめとする医療機器を使用している
- ⑧ 日本眼科学会によるエキシマレーザー屈折矯正手術のガイドラインを順守している



Topics 施設選びで大切なことは？

銀座眼科の元院長が2010年12月7日に逮捕され、安心LASIKネットワークもお問い合わせが多数寄せられました。「レーシックは本当に安全ですか？どこで受ければよいのでしょうか？」

そんな患者様への情報提供を目的として、安心LASIKネットワークはスタートしました。このネットワーク以外にも、眼科専門医の先生がきちんと眼科医療としてレーシックに真摯に取り組んでいる施設もあります。

逮捕された元院長は、眼科専門医ではありませんでした。

眼科の知識がない上に、どんな手術にも必要な衛生管理がなされていませんでした。医師としての常識とモラルが問われるものですが、患者様からはなかなか判断しづらいという難しさもあるようです。

インターネットを利用して情報を得る人が増えている現在、ネットを利用した情報リテラシーがとても重要と考えられます。

今号では、施設選びのための情報リテラシーについて考えてみたいと思います。



「眼科専門医」とは？

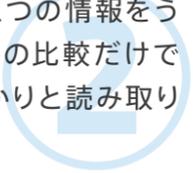
日本では、国家試験で医師免許を取得した者が医療行為を行えます。しかし医療はとても幅広いので、それぞれの分野の専門の学会が「専門医」の認定制度を定めています。眼科では、「日本眼科学会及び日本眼科医会の会員で、指定の施設において5年以上の眼科臨床研修(または卒後臨床研修後、指定の施設で4年以上の眼科臨床を研修)し、専門医認定試験に合格した者」と定めています。その後も継続した眼科での勉強が必要です。眼科医療をしっかりと学んでいる医師が「眼科専門医」というわけです。

眼科専門医のリストは、日本眼科学会のホームページに掲載されています。
<http://www.nichigan.or.jp/senmonlist/map.jsp>



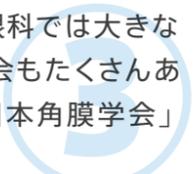
その情報は、誰が発信していますか？

インターネットの時代になり、誰もが簡単に情報発信できるようになりました。よって情報の真偽を見極める目が必要になります。ネットの多くの情報は宣伝が目的といえます。「誰がどんな立場で発信している情報か？」を念頭において判断することが必要です。また、ひとつの情報をうのみにするのではなく、いくつかの情報を集めて比較検討することも大切です。価格の比較だけでなく、その施設の取り組みや姿勢、手術後のアフターフォローについてなども、しっかりと読み取りましょう。



学会発信の情報も参考に

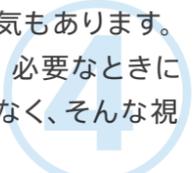
学会は、医師や医療従事者が学び合い情報共有をして医療を高めていく場です。眼科では大きな学会や団体には「日本眼科学会」「日本眼科医会」があります。その他、専門的な学会もたくさんありますが、レーシックに関係する学会としては、「日本眼内レンズ屈折手術学会」「日本角膜学会」などがあります。学会からの情報は営利目的ではありません。



生の情報を得る

ネットの情報だけでなく、近くの眼科医院で相談したり、手術を決める前に実際に施設を訪ねて医師の対応やスタッフの様子をしてみるなど、生の情報も大切です。

目は年齢とともに変化します。老眼になったり、白内障になったり、緑内障などの病気もあります。レーシックのあと、その施設、あるいはドクターと、その先も目の相談ができますか？ 必要なときにレーシックのデータを提供してもらうことができますか？ レーシックについてだけでなく、そんな視点でも検討してみてください。



名古屋アイクリニックでは、安心レーシックネットワークのロゴが輝いています



Q & A

ホームページに寄せられた質問の一部をご紹介します。

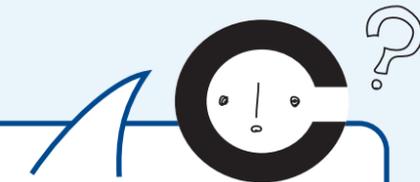
Q

「角膜を切っても大丈夫？」

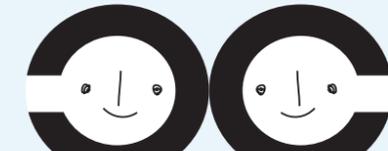
近所の眼科でレーシックのことを聞いたら「角膜は切らないほうがよい。メスを入れると見え方の質が低下したり、問題がおきる可能性がある」といわれました。これは本当でしょうか？ また、切った角膜は元通りにくっつきますか？ 角膜が弱くなったりしませんか？

A

レーシックの切開は、ケラトームと呼ばれる精密な電動メスや、フェムトセカンドと呼ばれる特殊なレーザーで作られます。これらの機械により作られた切開は、非常に精巧にできているために、見え方の質が落ちたり、問題が起きることはありません。また、切った角膜、つまりフラップの部分は、角膜が持つ陰圧により、しっかりくっつくために、角膜が弱くなったりすることはほとんどありません。ただ、プロボクサーや空手家のように、眼球を直接強く打撲する可能性の高い職業の方は、レーシックではなく、フラップを作らずに近視矯正を行うPRKを選択することをお勧めします。(回答：宮田眼科病院 宮田和典)



あなたが、レーシックを受ける前に
下記 10 項目を確認しましょう。



10 のチェックリスト！

- 視能訓練士などの眼科検査スタッフが十分な検査を行い、その後、眼科専門医による診察を受け、検査内容と結果について医師からきちんと説明を受けましたか？
- 高度近視の人や、角膜の厚さが薄い人の場合、レーシック以外の術式も選択肢として検討しましたか？
- 術前検査とカウンセリングに十分な時間を持ちましたか？ レーシックの治療について、十分理解できましたか？
- 年齢やライフスタイル、手術の目的などを考慮した目標視力の設定を、医師と十分に話し合う時間を持ちましたか？
- 手術の合併症やデメリットに対する説明を受けましたか？
- はじめての適応検査の後、手術までに一定の日数を空けていますか？
- 手術後、短期のみならず長期にわたる定期検査を行う予定がありますか？
- 執刀医を把握できる診察でしたか？ 担当医師、執刀医は「眼科専門医」でしたか？
- あなたが不安に思うことを、きちんと質問できましたか？ 医師はそれにきちんと説明してくれましたか？
- 術後に問題があった場合には、最後まできちんと治療をすることが期待できる施設ですか？